

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公開番号】特開2002-37829(P2002-37829A)

【公開日】平成14年2月6日(2002.2.6)

【出願番号】特願2000-227122(P2000-227122)

【国際特許分類】

C O 8 G 18/00 (2006.01)

C O 8 G 18/64 (2006.01)

C O 8 G 18/69 (2006.01)

C O 8 L 75/04 (2006.01)

C O 8 L 95/00 (2006.01)

C O 9 J 175/04 (2006.01)

C O 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C O 8 G 18/00 J

C O 8 G 18/64

C O 8 G 18/69

C O 8 L 75/04

C O 8 L 95/00

C O 9 J 175/04

C O 8 G 18/00

C O 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも疎水性ポリオール、瀝青物質、ポリイソシアネート及び発泡剤を、イソシアネートインデックスが90以下の条件で混合攪拌して発泡原液とし、得られた発泡原液を基材上に塗布し発泡させて得られる、組成物の物理特性が密度100～800kg/m³、粘着応力(180度ピール)4.0N/25mm以上、引張応力100kPa以上、伸び100%以上、25%圧縮硬さ2.0～80kPaであることを特徴とする自己粘着性発泡体。

【請求項2】 前記組成物に粘着付与剤が添加されていることを特徴とする請求項1記載の自己粘着性発泡体。

【請求項3】 前記疎水性ポリオールは、ジエン系ポリオール、ヒマシ油ポリオール、ダイマー酸ポリオールのいずれかであることを特徴とする請求項1あるいは請求項2記載の自己粘着性発泡体。

【請求項4】 前記発泡剤は水であり、この水は疎水性ポリオール100重量部に対して5重量部以下であることを特徴とする請求項1～3いずれか記載の自己粘着性発泡体。

【請求項5】 独立気泡率が0～60%であることを特徴とする請求項1～4いずれか記載の自己粘着性発泡体。

【請求項6】 防水性を有することを特徴とする請求項1～5いずれか記載の自己粘

着性発泡体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

【課題を解決するための手段】

本発明の自己粘着性発泡体は、少なくとも疎水性ポリオール、瀝青物質、ポリイソシアネート及び発泡剤を、イソシアネートインデックスが９０以下の条件で混合攪拌して発泡原液とし、得られた発泡原液を基材上に塗布し発泡させて得られる、組成物の物理特性が密度１００～８００ｋｇ／ｍ^３、粘着応力（１８０度ピール）４．０Ｎ／２５ｍｍ以上、引張応力１００ｋＰａ以上、伸び１００％以上、２５％圧縮硬さ２．０～８０ｋＰａであることを特徴とする。